



令和2年度流域下水道事業の決算がまとまりました

地方公営企業法第30条第1項の規定により、令和2年度事業の決算をとりまとめました。

決算の概要

※詳細は別紙のとおり

○ 業務量

処理水量：8,075万m³（前年比：102.3%）

○ 損益

経常収益：10,225百万円（前年比：96.4% 資産の除却による長期前受金戻入の減）

経常費用：10,209百万円（前年比：96.5% 資産の除却による減価償却費の減）

純利益：17百万円（前年比：56.7%）

○ 令和元年東日本台風の被災関連

- ・被災した資産の除却等に伴う特別利益及び特別損失を計上（3,457百万円）
- ・災害復旧事業費を計上（6,066百万円）

（参考）

- 現在、以下の3流域4処理区で15市町村 約60万5千人の処理を実施 R2年3月末現在
 - ・ 諏訪湖流域下水道：岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村・立科町
 - ・ 千曲川流域下水道 上流処理区：長野市（南部）・千曲市・坂城町
下流処理区：長野市（北部）・須坂市・小布施町・高山村
 - ・ 犀川安曇野流域下水道：松本市（梓川地区）・安曇野市
- 本県は、令和元年度から公営企業会計（一部適用）へ移行。今回が2回目の決算

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

環境部 生活排水課 業務係
 (課長) 中島 俊一
 (担当) 池田 伸吾 宮坂 玲那
 電話 026-235-7321 (直通)
 026-232-0111 (代表) 内線3376
 F A X 026-235-7399
 E-mail seikatsuhaisui@pref.nagano.lg.jp

令和2年度 流域下水道事業の決算概要

生活排水課

1 業務量・損益

(消費税抜き)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減		主な増減理由
			(A-B)	(A)/(B)	
処理水量	8,075 万 ³ m	7,891 万 ³ m	184 万 ³ m	102.3%	
経常収益 (a)	10,225 百万円	10,608 百万円	△383 百万円	96.4%	長期前受金戻入の減 △315 百万円
経常費用 (b)	10,209 百万円	10,578 百万円	△369 百万円	96.5%	減価償却費の減 △301 百万円
特別利益 (c)	3,457 百万円	0	3,457 百万円	—	除却資産に係る補助金等の戻入による増 +3,457 百万円
特別損失 (d)	3,457 百万円	0	3,457 百万円	—	被災した資産等の除却による増 +3,457 百万円
経常利益 (a-b)	17 百万円	30 百万円	△13 百万円	56.7%	
純利益 (a-b+c-d)	17 百万円	30 百万円	△13 百万円	56.7%	

※：四捨五入の影響により、合計額又は差引が一致しない場合がある。以下の表も同様

2 設備投資

(消費税込み)

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増 減		主な増減理由
			(A-B)	(A/B)	
収 入	10,498 百万円	4,373 百万円	6,125 百万円	240.1%	
内 補助金	6,529 百万円	2,834 百万円	3,695 百万円	230.4%	国庫補助金の増 +3,739 百万円
内 企業債 ※1	2,327 百万円	1,075 百万円	1,252 百万円	216.5%	
支 出	10,344 百万円	4,734 百万円	5,610 百万円	218.5%	流域下水道事業費(国庫補助金対象工事)の増 +5,663 百万円
内 建設改良費	8,201 百万円	2,499 百万円	5,702 百万円	328.1%	
内 企業債償還金	2,117 百万円	2,215 百万円	△98 百万円	95.6%	

※1：令和2年度の収入には、令和元年度事業分の支出に充てる企業債収入154百万円を含む。

3 資産状況

流動資産			流動負債			流動比率	
令和2年度 ①	令和元年度 ②	増 減 ① - ②	令和2年度 ③	令和元年度 ④	増 減 ③ - ④	令和2年度 ① / ③	令和元年度 ② / ④
7,860 百万円	2,666 百万円	5,194 百万円	9,789 百万円	4,850 百万円	4,939 百万円	80.3%	55.0%

4 経営指標

指 標	令和2年度	令和元年度
経常収支比率 (経常損益)	100.2%	100.3%
施設利用率 (処理能力に対する処理水量)	65.3%	71.2%